



みんな頑張った保育参観(発表会)12/6(月)~10(金)

これまで桐生市中央公民館、樹徳高校勢至ホールで行っていた「なかよし発表会」を、昨年度から幼稚園の遊戯室で開催しています。6日(月)にひよこ組が発表し、7日(火)はすみれ組、8日(水)はもも組、9日(木)はさくら組と続き、最終日10日(金)はたけ組で締めくくりました。年齢が一つ成長した子どもたちの発表を一日ずつ続けて観させていただくと、成長の発達がよく分かります。しかし、どのクラスも練習を重ねて、年齢の発達段階以上の発表だったと思います。

2歳児ひよこ組は、途中泣き出したり、お母さんの所に行ってしまう子どもも出てきましたが、手遊び歌『大きなたいこ』と『ねこのこ』をしっかりと発表できました。

満3歳児すみれ組は、歌『きらきら星』、『コンコンクシャンのうた』とカラフルの衣装を着た子どもたちがかわいらしさを振りまきながら劇『はらぺこあおむし』を演じました。

3歳児もも組は、大きな声で『おへそ』の歌を歌い、『やぎさんゆうびん』を合奏しました。劇では、『どうぞのいす』を上手に演じました。3歳児でもこんな上手に演技できることに驚きました。

4歳児さくら組は、今年運動会後に始めた鍵盤ハーモニカで『かえるの合唱』を立派に演奏しました。また、歌『世界中の子どもたちが』とタンバリンや鈴、カスタネットを使っての合奏・合唱『クリスマスの歌が聞こえてくるよ』、劇『アリとキリギリス』では、元気いっぱいの発表ができました。

5歳児たけ組は、鍵盤ハーモニカで『ふしぎなポケット』を発表した後、歌『ともだち讃歌』、合奏『ミッキーマウスマーチ』を歌ったり演奏したりしました。歌も合奏も立派で、小学校1年生に負けないくらいの素晴らしい発表でした。また、劇『12支の始まり』では、一人一人が十二支の動物や神様に成りきり、大きな動作を入れながらはっきりとした言葉でセリフを話し、とても感動的な発表でした。

今回初めて観させていただき、子どもたちの頑張りに大変感心しましたが、併せて、それぞれの担任が一人で劇の小道具と子どもたちの衣装をすべて製作したことに、「幼稚園の先生はすごい」と驚きました。

最後に、ご多用の中、子どもたちの発表をご参観いただきましたご家族の皆さんに感謝申し上げます。



2歳児「ひよこ組」



満3歳児「すみれ組」



3歳児「もも組」



4歳児「さくら組」



5歳児「たけ組」



「たけ組」 合奏の様子